

令和4年度 第1回 篠原小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年5月13日（金） 10時00分から11時45分まで
  - 2 開催場所 篠原小学校 会議室
  - 3 出席委員 鈴木 直樹、脇本 和義、鈴木 好治、辻村 栄子、石津 正貴、  
横井 詠子、横井 秀輔、野寄 佐衣子
  - 4 欠席委員 小楠 倫嗣
  - 5 学校支援コーディネーター 石津 正貴
  - 6 学 校 結城 知則、土屋 憲司、牧野 美緒里、中島 和美
  - 7 教育委員会 小川 誠司（浜松市教育委員会教育総務課）
  - 8 傍聴者 なし
  - 9 協議事項
- (1) 会長の選出及び副会長の指名について
  - (2) 議長の選出について
  - (3) 篠原小学校運営基本方針について
  - (4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 中島 和美
  - 11 会議記録

司会の土屋から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、脇本委員から鈴木直樹委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された鈴木直樹委員から、脇本委員を副会長に指名する旨の報告があった。

(2) 議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、協議の中で会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

(3) 篠原小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 目指す子供の姿として「社会とともに生き、社会を生かす」という視点を持つとボランティア精神が育まれ、地域もよくしようという意識も生まれると思う。(鈴木好治委員)  
→ 子供たちが地域に戻りたい、役に立ちたいという思いは大切。現在、委員会活動等、人の役に立つ活動に積極的に取り組んでおり、職員も感謝の言葉を大切にしている。(校長)

- ・ コロナを機に集団登校を廃止したが、「事故ゼロ」で安心した。自分の身は自分で守るという自立の意識が生まれたのでは。(石津委員)
- ・ 個別登校になり、子供が自分のタイミングで家を出られ、登校しながら自分で気持ちを整えているようで良かった。親の出勤時間が早い等、不安だという意見も聞いた。(横井詠子委員)
- ・ 学校経営書のグランドデザインは毎年変わるのか。(横井秀輔委員)
  - 学校教育目標はあまり変わらないが、重点活動は毎年見直ししている。校長がビジョンを示し、職員で話し合って決めるイメージ。(校長)
- ・ キーワードの「にこにこ きらきら ぐんぐん」がとても分かりやすく、学校の様子を見ても、子供たちが意識しながら学校生活を送っている様子がうかがえる。(野寄委員)
- ・ 対話的な学習の充実について、対話を重視するのは将来的にも非常に役に立つと思う。(辻村委員)
  - 発言が苦手な子もいるので、隣の席やグループで話し合い、自信をつけて全体へ発表する等の工夫をしている。(校長)
  - タブレット上なら発表できるという子もいるようで、それも良かった。(石津委員)
- ・ 学校経営という視点も大切。教員が夢を持って働ける学校を目指してほしい。現職の先生が笑顔でいられれば子供たちも笑顔になると思う。(脇本委員)
- ・ 子供の自立、共生のために地域、学校、行政がどうフォローしていくのか。今後、協議会を通してテーマにできると良い。(鈴木直樹委員)
  - 学校経営・運営については今まで以上に発信し、学校の1番の目標である、子供の成長を実感できるよう目指していきたい。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### (4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校に必要な支援について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ クラブ活動には何があるのか。(鈴木好治委員)
  - 生け花、絵手紙、運動関係、昔の遊び等、子供の興味のありそうなことを、講師の方に来ていただいて行っている。(教頭)

#### その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和4年7月6日(水)午前10時00分から会議室で開催する旨の報告があった。

令和4年5月13日

議長 鈴木直樹

会長 鈴木直樹